

口腔化粧品 高濃度無添加ナノプラセンタ

# ナノプラセンタ 100 ピュア ジェル



Nano Placenta 100 Pure Gel  
Intensive Aging Repair

## 1. 安全性

**?** 製造国と製造されている場所を教えてください。 ■ 製造国は日本、製造場所は埼玉県坂戸市です。

**?** 馬の産地はキルギスとのことですが、キルギスを選んだ理由が特別にあるのでしょうか。

キルギス共和国で飼育されている馬は広大な牧場で放牧され、自生する牧草を食し生育しています。馬が成長して受精から出産（自然分娩）に至るまで、人間が関与する部分が無に等しく、当然、人工的な処置はありません。それは、馬に抗生物質を投与したり、科学飼料を与えたりということは一切しないということです。このようなことから、製品原料となる胎盤が化学薬品に侵されておりません。

また、キルギス共和国の周囲は 3,000 ~ 7,000m 級の山脈に囲まれているため、隣接国の有害な物質が空気により流れ込まず、自然に近い状態で採取できる場所が、まさにキルギス共和国だったのです。

**?** 馬の胎盤のみを使用されているとのことですが、馬は徹底管理されているのでしょうか。

キルギス共和国で採取する胎盤は、現地契約農場に対し、徹底した品質管理を指導しています。出産時排出される胎盤は洗浄し、十分な品質検査後、急速冷凍した後、坂戸工場に運ばれ加工されます。

**?** きちんと殺菌処理をされているのでしょうか。

プラセンタエキス製造工程に於いて、熱滅菌、高圧滅菌、0.22 ミクロンのフィルターによるろ過で滅菌処理をしています。

**?** プラセンタは女性ホルモンに影響を及ぼすのでしょうか。

プラセンタエキスの主成分はアミノ酸です。アミノ酸は人間の体を作っているタンパク質の基になるものです。このことから人間の体を修復したり新陳代謝を旺盛にしたりするという意味では女性ホルモンに良い影響を与えているかもしれません。

**?** プラセンタを長期に摂取しても安全でしょうか。

安全です。

**?** 独自の技術と製法とのことですが、こちらは所謂フリーズドライ製法になるのでしょうか。フリーズドライ製法でない場合、フリーズドライ製法と比較した際の優位性について教えてください。

本製品は液体製品なのでフリーズドライ製法は使用しておりませんので比較できません。

## 2. 吸収

**?** 原末の場合のプラセンタの含有量は何 mg になるのでしょうか。

プラセンタの原末でフリーズドライの場合は 100% です (100mg のフリーズドライ原末では 100mg のプラセンタ)。

**?** 体の内側から摂取するのと、化粧水のように外側からではどちらが効果があるのでしょうか。

単純に比較はできません。

**?** プラセンタ注射との違いは何でしょうか。

本来、人が食事から栄養を摂るという意味では、口腔投与がより自然な摂取方法だといえます。

**?** ナノレベルの低分子化 (200 nm) に成功されたとのことですが、それによる体内吸収に及ぼす影響について教えてください。

プロテイン(タンパク質)は次の順序で低分子化されます。  
「プロテイン(タンパク質)→ポリペプチド→ペプチド→アミノ酸」  
プラセンタはプロテイン(タンパク質)のことを指し、プラセンタエキスはアミノ酸のことを指します。低分子であるほど皮膚・粘膜からの吸収効率が高くなります。

### 3. 効果

**?** 一般的なプラセンタの効果をお教えください。

- ①自律神経、ホルモンバランスを調整する。
- ②組織修復作用がある。
- ③病気への抵抗力を高める。
- ④抗アレルギー作用がある。
- ⑤抗炎症作用がある。
- ⑥代謝を活発にし、臓器や細胞の働きを活性化させる。
- ⑦肝臓の働きを高める。
- ⑧活性酸素を除去する。

**?** 効果はどのくらいで実感できるでしょうか。

個々の体感によるものなので一概に申し上げることができません。

**?** どの時間帯やタイミングで使用するのが一番効果的ですか。

起床後すぐ、就寝 1 時間前です。

**?** EGF と FGF とは何でしょうか。また、それがもたらす効果について教えてください。

EGF (Epidermal Growth Factor) とは、上皮細胞増殖因子のことです。その名が表すとおり、EGF には皮膚・粘膜表面の新陳代謝の活性化の効果、つまり、ターンオーバーの促進効果があると言われています。ターンオーバーとは、新しく生まれた皮膚・粘膜の細胞が成長し、役目を果たした後に剥がれ落ちていくまでの過程のことです。

ターンオーバーサイクルは 20 歳代で約 28 日間とされ、この周期が皮膚・粘膜を最も健康に保てる周期とされています。歳を重ねると共に新陳代謝が低下していくので、30～40 歳代になると 40～55 日とサイクルは長くなっていきます。個人差はありますが、50 歳代になると 70 日以上かかる場合もあります。つまり、新陳代謝の低下はイコール EGF の減少と言えます。40 歳代になると EGF の量は 20 歳代の 3 分の 1 程度になると言われています。

また、FGF (Fibroblast Growth Factor) とは、線維芽細胞増殖因子のことです。FGF が線維芽細胞に働きかけることで皮膚を構成する三層(表皮、真皮、皮下組織)のうち、真皮を健康に保てる効果があると言われています。線維芽細胞は真皮の成分となるコラーゲン、エラスチン、ヒアルロン酸をつくり出します。

線維芽細胞の自己増殖能力は 20 歳代後半から低下し、30 歳代で急降下します。個人差はありますが、40 歳代後半になると線維芽細胞からコラーゲンが新しく産出されることはほとんど無くなると言われています。

以上の事から、EGF と FGF の効果、及び、年齢とともに皮膚・粘膜は細胞レベルで機能低下していくことが分かります。

**?** 他社プラセンタと比較して、効果の違いを教えてください。

弊社のプラセンタエキスは、製造後タンパク質分析装置によりそのプラセンタエキスに含有されているタンパク質含有量を計測して数値化しています。

ナノプラセンタはタンパク量が100g中、約6.25g含有している高濃度プラセンタエキスを使用しています。これは弊社で製造しているプラセンタエキスで最も高濃度なものです。他社メーカーのプラセンタエキスは残念ながらこのような数値を明記しているものが無く、不明なので比較できません。

## 4. 使用上の注意

**?** 他の薬やサプリと併用しても大丈夫でしょうか。 ■ 特に問題はありません。

**?** 妊娠、授乳中でも使用して大丈夫でしょうか。 ■ 主治医にご相談ください。

**?** 子どもが使用しても大丈夫でしょうか。 ■ ご使用いただけます。

**?** プラセンタ注射をすると献血ができないと聞きましたが、こちらは献血しても大丈夫でしょうか。 ■ 人胎盤より抽出したプラセンタエキスではございませんので、本製品には関係ございません。

**?** 保管方法について教えてください。 ■ 防腐剤等を一切使用しておりませんので、冷蔵庫で保管してください。

2015.7